

事業総点検が始まりました

問 企画政策課 ☎56-0600

市長公約に基づき、限られた予算の中で市民ニーズに合った効率的・効果的で持続可能な行財政運営を目指すため、事業総点検を行っています。

本市の税収は安定しており、借金も少なく、多くの財政指標は健全な状態ですが、予測ではあと数年で生産年齢人口(15～64歳)がピークを迎えるため、今の税収を基本に今後の事業を行う必要があります。



事業総点検の目的は？

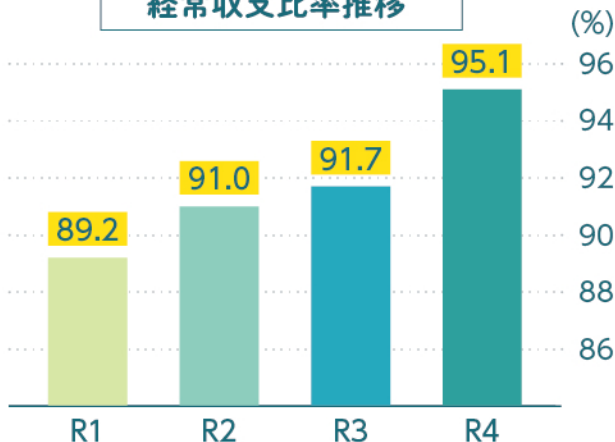
- 既存事業が今の社会情勢や市民ニーズに合っているか検証
- 健全な財政運営を行うための財源確保
- 新たな事業に取り組むための創造的な時間の確保



長久手市の財政状況は？

- 物価高騰など社会情勢の変化により、支出に占める経常的な経費(人件費、扶助費*、公共施設の維持管理費など)の割合が高まっています。

経常収支比率推移



経常収支比率とは？

経常的な収入(市税など)が、経常的な経費にどれだけ充当されているかを示しています。家計に例えると、毎月の給料に占める食費などの固定経費の割合であり、数値が低いほど、新しい施策や市独自の事業のために使えるお金の比率が高いという見方ができます。

※子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対する支援に必要な費用



どんなことをやっているの？

市の全ての事業のうち、庁舎管理費や法定受託事務、臨時的経費を除いた338事業において、目的に対して成果が出ているかなどを検証し、継続または改善、廃止を検討します。



どんな視点で点検しているの？

「市長公約」「必要性」「効果性」「効率性」「公平性」「歳入確保」の6つの視点を中心に点検を行っています。



いつまでやるの？

令和7年秋ごろまでを予定しています。なお、事業総点検の成果については、今後広報やHPで公表していきます。